



社会委員会行政視察

9月28・29・30日

議会改革特別委員会 オンライン行政視察

9月27日

社会委員会は、愛知県春日井市・蒲郡市、静岡県藤枝市の行政視察を行いました。

春日井市では「ぐりんぐりん（子ども屋内遊び場）」を視察しました。乳児から小学生までが思いきり遊べる全天候施設で、登録制・予約制ですが、なかなか予約を取ることができないほどの人気です。珍しい遊具と、子どもたちの好奇心に満ちた眼差しが印象的でした。



「ぐりんぐりん」の遊具

蒲郡市では「蒲郡市いきいき市民健康づくり事業」について研修させていただきました。「100日チャレンジ」や「スマート・ライフ・ステイ」など、市民が楽しく取り組める工夫がされていました。



蒲郡市保健センター

藤枝市は平成26年に、「健康・予防日本一ふじえだプロジェクト」で厚労省健康局長優良賞を受賞しており、健康に対する関心が非常に高く、医療費が低いことが特徴の自治体でした。保健委員は毎年約1千人、30年間で延べ2万人が研修を終了しています。健康推進課とは別に、健康企画課を設けており、新規事業への取り組みに力を入れているとのこと、市全体では毎年1050項目に及ぶ企画や事業を実施しているとのことでした。

先頃、オンラインシステムを利用して会津若松市議会との行政視察を行いました。

会津若松市議会は、平成16年より議会改革に力を入れており、議会改革のトップランナーとして、全国各地の議会からも注目を集めています。伊那市と会津若松市は会津藩初代藩主となられた保科正之の公が結ぶご縁で親善交流都市となっております。昨年度に引き続きのオンライン行政視察でした。



オンライン視察の様子

当日は、会津若松市議会の清川きよがわ雅史議長から、「市民意見を起点とし、課題解決につながる政策サイクルのさらなる充実」と題して、取り組まれている内容をご説明いただきました。今まで取り組まれた経験をもとに、政策サイクルの流れや、市政への反映、政策提言、また改選ごに苦勞している点などをお聞きすることができました。

伊那市議会でも、より良い市議会とするため議会改革特別委員会を組織し、市民参加型の政策サイクルを取り入れていこうとしています。

今年4月の改選により、特別委員会の委員のうち半分が新人議員となりましたが、従来から取り組んでいる議会改革を滞らせることなく、今回の研修で学んだことや気づいたことを活かしながら、今後の議会運営の改善につなげようという有意義な研修となりました。